

コーパスを利用した複合動詞「V1-果てる」の意味分析

杉 村 泰

キーワード：コーパス、コロケーション、複合動詞、「V1-果てる」、日本語教育

1. はじめに

本稿は「すっかり～する」という事態の完了的な意味を表す日本語の複合動詞「V1-果てる」の意味について論じたものである。従来、「V1-果てる」や「V1-果たす」の意味は国語辞典類に簡単な記述があるのみで、詳しい説明はほとんどなされてこなかった。たとえば、『旺文社国語辞典』（第八版）では以下のように記述されている。

- は・てる【果てる】**（自下一）①終わる。「いつ—ともしれない戦い」②死ぬ。「戦場で—」③（動詞の連用形の下に付いて）これ以上…することができない所まで…する。きわまる。…し終わる。「あきれ—」「精も根もつき—」
- はた・す【果〔た〕す】**（他五）①なしとげる。実行する。「任務を—」②しとめる。殺す。「一命を—」③（動詞の連用形の下に付いて）すっかり…してしまう。「金を使い—」

しかし、このような記述だけでは「V1-果てる」や「V1-果たす」のV1にいかなる動詞が来るのか不明確である。そこで杉村（2011）ではWeb検索を利用して、「V1-果たす」のV1にいかなる動詞が来やすいかを見た。その結果、「V1-果たす」は基本的に「使い果たす」と「討ち果たす」の2つの形でのみ使われ、「使い果たす」は主体にとって必要なお金、エネルギー、運などを全て使ってしまい、取り返しのつかない状態になることを表し、「討ち果たす」は敵を討伐するという任務の達成を表すことを指摘した。

これに引き続き、本稿では「V1-果てる」を対象に論じることにする。以下、2節で先行研究の記述を概観した後、(a) 名詞「果て」と「V1-果てる」の関係（3節）、(b) 動詞「果てる」と「V1-果てる」の関係（4節）、(c) Web検索の結果（5節）、(d) 「V1-切る」との違い（6節）について論じる。

2. 先行研究

先行研究では「V1-果てる」について、城田（1998）に次のような記述があるぐらいで、あまり詳しく論じられてこなかった。

城田（1998：146）

ハテルはうごきの程度の強調と共に主に悪いコトに関して結果の達成の意を示す。呆レハテル、消エハテル、絶エハテル、キキハテル（泉鏡花）。

城田（1998）の記述は「V1-果てる」の特徴を端的にとらえていると思われる。しかし、これだけでは「悪いコト」の中身が不明確で、具体的にどのようなV1を取りやすいか（取りにくい）が明確ではない。例えば、「慌てる」、「怯える」、「後悔する」、「漏れる」、「散らかる」、「のぼせる」、「劣る」、「減る」はいずれも「悪いコト」を表すと言えなくもないが、「*慌て果てる」、「*怯え果てる」、「*後悔し果てる」、「*漏れ果てる」、「*散らかり果てる」、「*のぼせ果てる」、「*劣り果てる」、「*減り果てる」は不自然な日本語に思われる。また、城田（1998）は泉鏡花の『高野聖』から「聞き果てる」の例を挙げているが、これだけわざわざ出典を示していることからわかるように、「聞き果てる」はあまり自然な日本語ではないように思われる。

そこで、杉村（2012）ではCD-ROM版「新潮文庫の100冊」をコーパスとして、全507例、前項動詞の異なり語数で92語の「V1-果てる」を抽出し、その特徴について分析した。その概要を以下にまとめておく。

コーパス：CD-ROM版『新潮文庫の100冊』

検索対象：日本人作家による67冊

検索方法：「果て」、「はて」について活用形を含めて全て検索し、その中から複合動詞「V1-果てる」を手作業で抽出した。

検索結果：同じV1を取るもの同士まとめて表1に示す¹⁾

以上の結果を根拠にして、杉村（2012）では「V1-果てる」には大きく分けて次の2つの用法があることを指摘した。

「V1-果てる」

- ① V1：「疲れる、変わる、荒れる、成る、忘れる、呆れる、尽きる、朽ちる、枯れる、絶える、消える」など変化の結果を表す非対格自動詞

表1 「V1-果てる」の出現数（『新潮文庫の100冊』）（全507例、異なり語92語）

	出現数		出現数		出現数
1 疲れ果てる	76	〃 痩せ果てる	9	31 破れ果てる	3
2 変わり果てる	38	17 凍り果てる	8	〃 弱り果てる	3
3 荒れ果てる	37	〃 困り果てる	8	〃 散り果てる	3
4 成り果てる	34	19 澱み果てる	7	34 壊れ果てる	2
5 忘れ果てる	32	〃 倦み果てる	7	〃 乾き果てる	2
6 呆れ果てる	20	21 暮れ果てる	6	〃 埋れ果てる	2
7 尽き果てる	17	22 涸れ果てる	5	〃 古び果てる	2
8 朽ち果てる	16	〃 困じ果てる	5	〃 読み果てる	2
9 枯れ果てる	15	〃 やつれ果てる	5	〃 渡り果てる	2
10 絶え果てる	13	〃 寂れ果てる	5	〃 厭い果てる	2
11 消え果てる	12	26 冷め果てる	4	〃 なし果てる	2
12 捨て果てる	9	〃 見下げ果てる	4	〃 零落れ果てる	2
〃 見果てる	9	〃 汚れ果てる	4	〃 萎れ果てる	2
〃 飽き果てる	9	〃 倦き果てる	4	44 下記48語	1
〃 衰え果てる	9	〃 錆び果てる	4		

※沈め果てる、作り果てる、洗い果てる、積み果てる、精げ果てる、植え果てる、言い果てる、聞き果てる、捧げ果てる、疎み果てる、疎んじ果てる、成し果てる、お祓いをし果てる、舞い果てる、反き果てる、迷い果てる、厭き果てる、くたびれ果てる、病み果てる、痺れ果てる、老け果てる、老いぼれ果てる、生き果てる、見限り果てる、倦じ果てる、乱れ果てる、荒み果てる、困窮し果てる、下り果てる、降（お）り果てる、緩み果てる、腐り果てる、覚め果てる、纏め果てる、曇り果てる、暮れ果てる、明け果てる、焼け果てる、砕け果てる、失せ果てる、失い果てる、閉じ果てる、沈み果てる、廃れ果てる、萎れ果てる、蔽われ果てる、虐まれ果てる、忘れ果てる（48語）

意味：元々主体の持っていた生命力、活気、気力、記憶、能力などがしだいに消え去っていき、これ以上消えることができない所まで行きついたという極限状態に達していることを表す

② V1：「見る」（「見果てぬ（夢）」のように否定形で使われる）

意味：主体の見たかった夢や願望が最後まで見られずに終わることを表す

これを受け、本稿ではさらに名詞「果て」との関係（3節）、本動詞「果てる」との関係（4節）、Web検索の結果（5節）、(d)「V1-切る」との違い（6節）を見ることにより、「V1-果てる」の特徴をより明らかにしていく。

3. 名詞「果て」の意味

まず名詞「果て」と複合動詞「V1-果てる」の関係について見る。名詞「果て」の意味については『旺文社国語辞典』（第八版）に次のように記述されている。

- はて【果て】①しまい。終わり。際限。「旅路の一」「なれの一（＝おちぶれた末）」
②山・野・海・空などの一番遠いところ。「地の一」

そこでCD-ROM版「新潮文庫の100冊」を使って名詞「果て／はて」を検索すると、「果て」は事物の終点は終点でも特に「マイナス方向の極限」を表す場合に使われるのが基本であることがわかる。たとえば、(1)の「国の果て」は単なる位置的な際限を表すのではなく、そこが中心から離れた不毛な場所であるという意味になる。また、例(2)～(5)の「戦争の果て」、「疲労のはて」、「飢えのはて」、「挙句のはて」などは「○○のはて、～する／となる」の形で「ある事態の結果、望ましくない状態に陥る」ということを表している。さらに、(6)の「はては」は「○○、○○、はては○○(に)まで～する／となる」の形で「あるスケール上に並ぶ対象の中で、最も典型性の低いものにまで当該の事態が及ぶ」ということを表している。

- (1) a. そのうえ国のはてともいうべき不便な土地で、物の値段も法外なものに違いないが、それだけの物資なら、持っていった砂金の半分以上でも余ったであろう、残りの砂金はどうなったか。(山本周五郎『さぶ』)
b. *国の果てともいうべき便利な土地。
- (2) a. なんの変化も見られぬその村にさえ、大きな変化をきたした戦争のはての敗戦。(壺井栄『二十四の瞳』)
b. *戦争のはての勝利。
- (3) a. 三原は雨の音を聞きながら、疲労のはて、欲も得もなく眠りこけた。(松本清張『点と線』)
b. *疲労のはて、元気はつらつとなる。
- (4) a. 私は怒りを感じた。もし人間がその飢えの果てに、互いに食い合うのが必然であるならば、この世は神の怒りの跡にすぎない。(大岡昇平『野火』)
b. *上のはてに、互いに助け合う。
- (5) a. 詩を書きたかった俊夫の長兄が、無理やりに法科にいれた後、家をとび出して、喫茶店の細っこい女の子と同棲し、あげくのはてに心中をくわだてて、女の子だけが死んだ事件によって、金と地位と「一家一門」の学歴の名誉に支えられていた藤原家には、大きながたが来た後ではあった。(曾野綾子『太郎物語』)
b. *挙句のはてに立派な青年となる。
- (6) a. それよりも彼女らの父親基一郎は、誰でも彼でも好き勝手に結婚させてしまうというのだ。それが彼の趣味であり、同時に病院の勢力を拡張する手段な

のだ。それは籠子、徹吉からはじまって、あらゆる親類、ものになりそうな晝生、はては看護婦から出入りの職人にまでおよんでいる。(北杜夫『楡家の人びと』)

- b. *はては籠子、徹吉 (=近親者) にまで及んでいる。

以上の例のように名詞「果て」はマイナス方向の極限を表すのが基本である。中には(7)や(8)のように「～のはて」に続く結果(「迫害からの身の処しかたを身につけること」、「堅い決心をすること」)自体は格別マイナスイメージが伴わない場合もある。しかし、この場合にも「果て」を使うことによって辛酸や熟慮が長く続き、心身の疲労が極限にまで達したという文面には表れないマイナスの意味があると考えられる。

- (7) それは好寿院で辛酸の果てに身につけた迫害からの身の処しかたでもあった。
(渡辺淳一『花埋み』)
- (8) そこには熟慮の果ての堅い決心と小さな羞じらいがあった。(渡辺淳一『花埋み』)

以上、名詞「果て」はマイナス方向の極限を表すことを見た。この意味が複合動詞の「V1-果てる」にも受け継がれていると考えられる。

4. 本動詞「果てる」の意味

次に本動詞「果てる」と複合動詞「V1-果てる」の関係について見る。本動詞「果てる」については、磯貝・室山(1989)や田・泉原・金(1998)に次のような記述がある。

磯貝・室山(1989:290)

果てる〔動下一〕終わる。尽きる。死ぬ。〈尽きる〉は、「食料が尽きた。」「ガソリンが尽きて、もうこれ以上走れない。」のように、物について言うことが多いが、「話が尽きた。」のように、事柄の内容について言うこともある。〈果てる〉は、行動や事柄そのことについて言い、「話が果てる。」というとき、対話という行為が終わることを意味する。〈果てる〉は、〈尽きる〉に比べて、やや文章語的である。⑧果て(名)

田・泉原・金(1998:599)

「果てる」は「果たす」の自動詞で、すっかり変わってしまった・すべてが終わってしまったという虚無的な気分が伴い、「異郷〔戦場〕で果てる・命が果てる」

など「死ぬ」ことを表して、死に方を評価・回想するというニュアンスがある。

そこでCD-ROM版「新潮文庫の100冊」を使って本動詞の「果てる／はてる」を検索すると、確かに「果てる」は先行研究の記述にあるように「終わる、尽きる、死ぬ」という意味を表すことがわかる。ただし、「果てる」は長い時間続いたことがついに終わるイメージで使われるため、話し始めて間もなく話を終える場合には「話しが果てる」ではなく「話が終わる」と言い、生まれてすぐに死ぬ場合には「命が果てる」ではなく「命が消える」のように言うほうが自然である。このように、「果てる」は事態の終了を表す場合にいつでも使えるわけではなく、当該事態が終了するまでにある程度長い時間を要した場合に使われることが分かる。また、その場合に、例(9a)～(11a)の「任(務)」、「宴」、「生涯」などは対象にとることができるが、例(12a)、(13a)の「体」、「顔」などは対象にとることができないという違いが見られる。このことから、「果てる」は長い時間をかけて何らかの対象物が消滅することを表すことが分かる。

- (9) a. 「常陸の介が任果てて上洛したのでございます」(田辺聖子『新源氏物語』)
b. *任が果たされ果てる / *行われ果てる。
- (10) a. 夜はふけて、やっと宴は果てた。(田辺聖子『新源氏物語』)
b. *宴が催され果てる。
- (11) a. おそらく生涯をここに果てるかとも思います。(竹山道雄『ビルマの豎琴』)
b. *生涯が / 命が尽き果てる。
- (12) a. *一日中働いて体が果てた。
b. 体が疲れ果てる。
- (13) a. *美しかった顔が30年の歳月のうちにすっかり果てた。
b. 顔が変わり果てる。

ここで興味深いのは、表2に示すように「任／宴／生涯が果てる」は言えてもそれに対応する「V1-果てる」は言えず、反対に「*体／*顔が果てる」は言えなくてもそれに対応する「V1-果てる」は言えるということである。これを見ると、本動詞の「Nが果てる」はNに「任／宴／生涯」のようなコトを表す名詞を取りやすく、複合動詞の「NがV1-果てる」はNに「体／顔」のようなモノを表す名詞を取りやすいということがわかる。また、「命が果てる」と「命が尽き果てる」の両方が言えるのは、「命」自体はモノ名詞であるものの、「生涯」のようなコト名詞にも通じる意味を持っているためであると考えられる。

表2 「果てる」と「V1-果てる」の比較

果てる	V1-果てる
任が果てる	*任が行われ果てる
宴が果てる	*宴が催され果てる
生涯を果てる	*生涯が尽き果てる
命が果てる	命が尽き果てる
*体が果てる	体が疲れ果てる
*顔が果てる	顔が変わり果てる

5. コーパス調査 (Web 検索)

5.1 調査の概要

本節ではインターネットの WWW ページをコーパスとして「V1-果てる」の前項動詞 (V1) の特徴を見る。WWW ページをコーパスとすることに関しては、「不自然な表現が混じる」、「文体差が見にくい」、「データの保存性が悪い」などの批判もある。しかし、「大規模データを検索することにより、普段あまり使わない表現を抽出することができる」、「書き言葉から話し言葉まで日本語の総体をひっくるめて検索できる」、「自然な表現から不自然な表現までどれくらいの頻度で出現するかを見ることができる」などの利点もある。²⁾ 以下、本稿で使用したコーパスの概要を記しておく。

コーパス：インターネットの WWW ページ

検索エンジン：goo のフレーズ検索 (<http://www.goo.ne.jp/>)

検索日：「V1-果てる」2011 年 7 月 9 日～2011 年 7 月 17 日

「V1-はてる」2011 年 7 月 30 日～2011 年 8 月 2 日

検索方法：前項動詞は『日本語基本動詞用法辞典』にある 852 語を含む 1,071 語を対象とし、これらと「果て / はて (る、た、ない、なかった、ます、ました、ません、て)」の 8 つの活用形との共起について検索した。表 3 にはその合計ヒット数を示してある。

5.2 Web 検索の結果

次に Web 検索の結果を見る。今回調査した 1,071 語の動詞のうち、「V1-果てる」と 1 件以上共起したものは 255 語であった。このうちヒット数上位 61 語を表 3 に示す。Web 検索の結果は『新潮文庫の 100 冊』で 17 位 (出現数 8 件) であった「困り果てる」が第 2 位 (87,676 件) となり、31 位 (3 件) であった「弱り果てる」が 11 位 (4,021 件) に入るなど多少の順位の変動はあるものの、Web 検索で上位 10 位以内に入っているもののうち 8 つは『新潮文庫の 100 冊』でも上位 10 位以内に入っているというように、両者

でほぼ同じような出現傾向が見られることがわかる。

表3 「V1-果てる」の出現数上位61語 (WWW ページより)

		出現数			出現数			出現数
1	疲れ果てる	209,336	21	崩れ果てる	510	41	踊り果てる	119
2	困り果てる	87,676	22	衰え果てる	508	42	倒れ果てる	102
3	朽ち果てる	86,222	23	寂れ果てる	460	43	倦み果てる	95
4	変わり果てる	84,980	24	壊れ果てる	438	44	越え果てる	86
5	荒れ果てる	73,428	25	暮れ果てる	408	45	瘦せ果てる	85
6	成り果てる	52,655	26	汚れ果てる	395	46	酔い果てる	84
7	呆れ果てる	38,709	27	悩み果てる	355	47	流れ果てる	78
8	枯れ果てる	34,780	28	焼け果てる	337	48	渴き果てる	63
9	尽き果てる	28,411	29	狂い果てる	309	49	泣き果てる	63
10	腐り果てる	6,159	30	悶え果てる	277	50	敗れ果てる	59
11	弱り果てる	4,021	31	捨て果てる	213	51	萌え果てる	58
12	忘れ果てる	2,831	32	落ち果てる	194	52	溶け果てる	54
13	やつれ果てる	2,216	33	破れ果てる	186	53	冷め果てる	52
14	消え果てる	2,130	34	戦い果てる	158	54	沈み果てる	52
15	涸れ果てる	1,724	35	燃え果てる	146	55	醒め果てる	48
16	散り果てる	1,486	36	使い果てる	144	56	病み果てる	47
17	絶え果てる	1,273	37	錆び果てる	125	57	抜け果てる	45
18	死に果てる	731	38	乾き果てる	124	58	読み果てる	45
19	見果てる	720	39	迷い果てる	124	59	驚き果てる	44
20	飽き果てる	703	40	打ち果てる	120	60	切れ果てる、 潰れ果てる	43

なお、表3では「見果てる」のヒット数が720件となっているが、これは本稿では「果て/はて(る、た、ない、なかった、ます、ました、ません、て)」の8つの活用形のみを検索対象としたためである。しかし、杉村(2012)で見たように「見果てる」は他の「V1-果てる」とは違って「見果てぬ(夢)」のように打消しの助動詞「ず」の連体形「ぬ」を伴って使われることが多い。そのため、「見る」のみ「見果てぬ/見はてぬ」の形も検索したところ、これだけで11,258件も出現した。

5.3 「V1-果てる」の意味

今回のWeb検索の結果は、杉村(2012)で行った『新潮文庫の100冊』の結果とほぼ同じ傾向を示している。したがって、杉村(2012)で指摘したように、「V1-果てる」は基本的にV1に「疲れる、変わる、荒れる、成る、忘れる、呆れる、尽きる、朽ちる、枯れる、絶える、消える」など変化の結果を表す非対格自動詞を取り、元々主体の持っていた生命力、活気、気力、記憶、能力などがしだいに消え去っていき、これ以上消えることができない所まで行きついたという極限状態に達していることを表すと考えられ

る。本稿では、このような「V1-果てる」の意味は、「マイナス方向の極限」を表す名詞「果て」や、長い時間続いたことがついに終わるという意味を持つ本動詞「果てる」から受け継がれたものであることを指摘する。以下、例(14)～(19)にWeb検索で上位6位までに入った「V1-果てる」の例を挙げる。いずれも当該の事態がマイナス方向へ行き着くところまで行き着いたという極限状態を表している。

- (14) 年末、残業残業で疲れ果ててその日もタクシー帰りだった。
(<http://yuichibass.tumblr.com/post/6660747637>) 2011/7/16
- (15) 異常気象というのはこの雪のことです。この町では、一年間もの間雪が降りつづけているのです。原因もわからず、町のひとはほとんど困り果ててました。
(http://www14.plala.or.jp/k_hiroaki/novel/novel/sc/01.html) 2011/7/31
- (16) 死んだのはいつでしょう？ 鎧の中の軀は朽ち果てて白骨化しているのでしょうか。
(<http://www.shikabane.com/shikabane.html>) 2011/7/17
- (17) 大きな津波が街を飲み込んだ。その後、街はすっかり変わり果ててしまった。
(http://japanese.china.org.cn/jp/txt/2011-03/17/content_22163101.htm) 2011/7/10
- (18) 鎮静作用が優れているので、にきびや吹き出物、荒れ果てた肌を優しくシトリとした肌に保ちます。
(<http://www.tai-sen.com/massage/index.html>) 2011/7/17
- (19) マスメディアはお願いだから政府の宣伝機関に成り果てないでほしい。
(<http://ameblo.jp/takao-fujioka/day-20110329.html>) 2011/7/16

ここで、最後の「成り果てる」に関して『新潮文庫の100冊』から出現した34例を見ると、いずれも「成る」の対象には好ましくないものが来ることがわかる。

・『新潮文庫の100冊』における「○○に成り果てる」全34例の対象

牢人(2例)、浅間しい身(2例)、乞食、娼婦、人殺し、女をさいなむ刑吏、疑い深い有徳の士、腐木の実を生ぜざるが如き男、つまらぬ事をいう女子、奈良屋の女主人ではなく単なる嫁、歓喜天の女仏、ボロカス女、虎、権威の亡霊、白癩の身、根なし草の身、意気地のないもの、ただ局を訪ねてくる庄九郎を迎えて送るだけの存在、それ以前の自分とはまるでちがう者、何もかもが一切虚しく、牛蒡が大根のよう、破れ靴みたい、自分を裏切って何時どんな所にでも平気で生きていられるよう、無一文、悪魔の餌食、呆然と、こう(阿部一族の悲劇)、かく(宮刑となった我が身の有様)、ごま粒ほどの思い出、満山の落葉樹は冬の姿態、野の中のただの人里、

(稲葉山城が)すでに織田家のもの(各1例)

同様に、次のような非対格自動詞をV1に取る表現も当該状態がこれ以上変化できない所まで行きついたという極限状態に達していることを表している。

(20) すでに日暮れ道遠しです。いや日はとつぷりと暮れ果てました。

(<http://homepage1.nifty.com/esd-takatsuki/ESD-B-03html.html>) 2011/7/11

(21) けれども夜が明け果てないうちに、夕霧はお帰りにになりました。

(<http://homepage1.nifty.com/WAKOGENJI/33fujiur/33fujiur.html>) 2011/7/9

(22) 曇り果てたふたつの目の奥に それでも光は宿りつづける

(<http://www2s.biglobe.ne.jp/~gonn/asuwomukaeni.html>) 2011/7/11

このように「V1-果てる」は基本的にV1に非対格自動詞を取るが、「見果てる」のように例外的に他動詞を取る用法もある。「見果てる」は例(23)のように肯定文で使われて「これ以上見る夢はない」というマイナス方向の極限を表す場合もある。この場合は、上の典型的な「V1-果てる」と同様に考えることができる。一方、「見果てる」は例(24)、(25)の「見果てぬ(夢、願望)」のように否定形かつ連体形で固定的に使われることが多い。この場合、肯定形の「見果てる」自体にはマイナスの意味が伴わず、「見果てぬ」という否定形で「主体の見たかった夢や願望が最後まで見られずに終わる」というマイナスの意味が伴う点で特徴がある。

(23) 建礼門院平徳子は、いうまでもなく平清盛の娘で、女としては最高の身分に達し、安徳天皇の母にまでなりながら、壇ノ浦で、一族滅亡のおり、母や息子に遅れ、死にそこねました。このとき29歳であったそうですので、もう一生分の夢は見果てたのでしょう。

(<http://blog.zaq.ne.jp/randokku/article/623/>) 2011/7/17

(24) しかし、ラリーには1000万円以上の莫大な資金が必要となる。サラリーマンとして生活しながら、中島さんは見果てぬ夢を追い続けた。

(<http://www.mdnagano.or.jp/mind/29/travel.htm>) 2011/7/17

(25) 彼は一応、大学進学を考えてはいた。父親である良裕も、学生時代医学部受験に三度ほど失敗し、結局漁師を継ぐことにしたという流れもあってか、息子に自分が見果てなかった夢を投影し、せめては進学して大学生を満喫してくれることを望んでいた。

(<http://p.booklog.jp/book/4115>) 2011/7/17

このような「見果てる」を除いて「V1-果てる」のV1に非能格自動詞や他動詞が来ることはあまりないが、少数ながら例(26)～(29)のように使われる場合もある。この場合、V1に非対格自動詞が来る場合と同様に、当該の行為が行き着く所まで行き着き、これ以上消費する対象(「遊び、行動場所、ケーキ、源氏物語」)がない極限状態に達していることを表している。

- (26) 仕事で果ててるといよりは確実に遊び果ててます。

(http://www.mypress.jp/v2_writers/nagraloc/story/?story_id=1601730) 2011/7/9

- (27) 今日の行動範囲。横浜→新宿→横浜→九段→葛飾→横浜。歩き果てました。

(<http://twitter.com/#!/Yoshikanzaki007>) 2011/7/9

- (28) ホールのケーキ!!! 色がカワイイ 女子5人で一瞬で食べ果てました。

(<http://trench-blog.jugem.jp/?day=20110322>) 2011/7/13

- (29) ようやく宇治十帖を読み終え、これで源氏物語はすべて読み果てたことになる。

(http://pearlyhailstone.blogspot.com/2010/07/blog-post_29.html) 2011/7/17

5.4 「V1-果たす」を使うのが一般的なもの

このほか、Web検索からは(30)、(31)のような「使い果てる」が出現した。これらは「使い果たす」と言ったほうが普通であると思われるが、敢えて自動詞形の「V1-果てる」を使うことによって、動作主の行為ではなく「貯金や年金の消滅」という対象の結果状態に焦点を当てた表現となっている。

- (30) 自分の貯金は子供の教育費で使い果てました。

(<http://logsoku.com/thread/life7.2ch.net/live/1156227167/>) 2011/7/16

- (31) リタイアしても医療費を食い潰しながら長生きし、最後は年金を使い果てて死んでくんだろーなー。

(<http://www.jimbo.tv/videonews/000320.php>) 2011/7/16

6. 複合動詞「V1-果てる」と「V1-切る」

次に複合動詞「V1-果てる」と「V1-切る」を比較する。杉村(2008)で論じたように、「V1-切る」は〔A〕本動詞「切る」の持つ切断の意味が生きているものと、〔B〕切断の意味があまり感じられず接辞化したものに分けられる。このうち、「V1-果てる」と同様に事態の完了的な意味を表すものは〔B〕の3～5の3つである。

〔A〕本動詞「切る」の持つ切断の意味が生きているもの

1. 「切断」：前項動詞で表される手段によって対象を物理的に分断することを表す。
(例) 噛み切る、食い切る、叩き切る、首を締め切る、枝を打ち切る、鼻緒を踏み切る、稲穂を押し切る、退路を断ち切る
2. 「終結」：前項動詞で表される行為によって事態の継続に区切りをつけることを表す。
(例) 番組を打ち切る、申し込みを締め切る、追跡を振り切る、彼の才能を見切る、思いを断ち切る、思い切る、割り切る

〔B〕切断の意味があまり感じられず接辞化したもの

3. 「行為の完遂」：動作動詞に付いて、当該の事態を最後までやり残しなく完全に行うことを表す。
(例) 走り切る、食べ切る、使い切る、意見を押し切る、難局を乗り切る、耐え切る、待ち切れない、守り切る、隠し切る
4. 「変化の達成」：変化動詞に付いて、当該の変化が最後まで滞りなく生じることを表す。
(例) 諦め切る、治り切る、信じ切る、死に切れない、日が暮れ切る、氷が溶け切る、煮え切らない態度
5. 「極限状態」：状態動詞に付いて、すでに成立している状態が質的にさらに深まってそれ以上は進まない限界に達していることを表す。
(例) 疲れ切る、冷え切る、困り切る、濁り切る、澄み切る、広がり切る、太り切る、頼り切る、仕事に張り切る、下がり切る

ここで本稿で行った「V1-果てる」の検索結果と杉村(2008)で行った「V1-切る」の検索結果を比較すると、表4のようになる。

これを見ると、「V1-果てる」は「V1-切る」の〔B〕の5「極限状態」を表す用法と重なる傾向にあることがわかる。両者の違いは、「V1-果てる」は例(32a)のように主体自身のマイナス方向での極限状態を表す場合に使われる傾向にあり、「V1-切る」は例(32b)のように当該事態の進行が限界点に達していることを表す場合に使われる傾向にあるという点にある。

- (32) a. 彼女の美しかった顔はすっかり {変わり果てて / ² 変わり切って} しまった。
b. 時効は日付が {*変わり果て / 変わり切ら} ないと成立しない。

したがって、「彼は疲れ果てている」と言えば「彼自身」がダウンした状態になっている

表4 「V1-果てる」と「V1-切る」の出現数の比較 (WWW ページより)

	V1	出現数			V1	出現数			V1	出現数	
		果てる	切る			果てる	切る			果てる	切る
1	疲れ	209,336	65,290	21	崩れ	510	306	41	踊り	119	2,079
2	困り	87,676	1,093	22	衰え	508	200	42	倒れ	102	135
3	朽ち※	86,222	13	23	寂れ	460	236	43	倦み	95	11
4	変わり	84,980	251	24	壊れ	438	363	44	越え	86	53
5	荒れ※	73,428	623	25	暮れ	408	443	45	痩せ	85	127
6	成り	52,655	5,093	26	汚れ	395	4,113	46	酔い	84	44
7	呆れ	38,709	113	27	悩み	355	147	47	流れ	78	970
8	枯れ	34,780	992	28	焼け	337	146	48	渴き	63	1,621
9	尽き	28,411	5	29	狂い	309	150	〃	泣き	63	84
10	腐り	6,159	8,554	30	悶え	277	9	50	敗れ	59	2
11	弱り	4,021	3,417	31	捨て	213	1,322	51	萌え	58	103
12	忘れ	2,831	691	32	落ち	194	4,198	52	溶け	54	2,245
13	やつれ※	2,216	1,890	33	破れ	186	19	53	冷め	52	7,305
14	消え	2,130	257	34	戦い	158	748	〃	沈み	52	1,703
15	涸れ	1,724	42	35	燃え	146	789	55	醒め	48	460
16	散り	1,486	233	36	使い	144	163,894	56	病み	47	129
17	絶え	1,273	13	37	錆び	125	304	57	抜け	45	15,959
18	死に	731	387	38	乾き	124	11,431	〃	読み	45	38,855
19	見	720	23,136	〃	迷い	124	32	59	驚き	44	9
20	飽き	703	56	40	打ち	120	76,895	60	切れ	43	14
									潰れ	43	72

検索エンジン：goo のフレーズ検索 (<http://www.goo.ne.jp/>)

検索日：「V1-切る」2007年2月16日～3月21日（※は2011年10月31日に追加調査）

「V1-きる」2007年8月1日～8月12日（※は2011年10月31日に追加調査）

検索方法：前項動詞は『日本語基本動詞用法辞典』にある852語を含む1,071語を対象とし、これらと「切/き（る、った、らない、らなかつた、ります、りました、りません、って）」の8つの活用形との共起について検索した。表4にはその合計ヒット数を示してある。

ことに焦点が当たり、「彼は疲れ切っている」と言えば「彼の疲労」がピークに達していることを表すと考えられる。

また、「朽ち果てる」(86,222件)、「尽き果てる」(28,411件)、「絶え果てる」(1,273件)の出現数が多いのに比べ、「朽ち切る」(13件)、「尽き切る」(5件)、「絶え切る」(13件)の出現数は極端に少なくなっている。これは「朽ちる」、「尽きる」、「絶える」は主体から生命力などが消えることを表すため「V1-果てる」とは共起するが、瞬間的な性質を持つため「V1-切る」とは共起しにくいのであると考えられる。

7. まとめ

以上、本稿では「V1-果てる」はマイナス方向の極限という意味を持ち、これは名詞

「果て」や本動詞「果てる」に由来していることを指摘した。また、Web 検索を利用して複合動詞「V1-果てる」の V1 に来る動詞の特徴を見ることにより、「V1-果てる」には次の用法があることを確認した。

「V1-果てる」

- ① V1: 「疲れる、変わる、荒れる、成る、忘れる、呆れる、尽きる、朽ちる、枯れる、絶える、消える」など変化の結果を表す非対格自動詞

意味: 元々主体の持っていた生命力、活気、気力、記憶、能力などがしだいに消え去っていき、これ以上消えることができない所まで行きついたという極限状態に達していることを表す

- ② V1: 「見る」(「見果てぬ(夢)」のように否定形で使われる)

意味: 主体の見たかった夢や願望が最後まで見られずに終わることを表す

また、本稿では「V1-果てる」と「V1-切る」を比較して、「V1-果てる」は主体自身のマイナス方向での極限状態を表す場合に使われる傾向があり、「V1-切る」は当該事態の進行が限界点に達していることを表す場合に使われる傾向があることを指摘した。

付記: 本稿は平成 22-25 年度科学研究費補助金(基盤研究(B))(課題番号 22320093)による研究成果の一部である。

注

- 1) 「疲れる、つかれる、憊れる、労れる」、「枯れる、凋れる」、「絶える、耐える」、「澱む、淀む」、「痩せる、瘠せる」、「錆びる、寂びる」、「零落れる、落ちぶれる」のように表記の違うものも、同じ意味で使われている場合にはまとめて集計してある。
- 2) 荻野(2007)や杉村(2007)では、WWW ページが有用なコーパスとなりうることが実際の言語分析を通して論じられている。

参考文献

- 磯貝英夫・室山敏昭(編)(1989)『類語活用辞典』, 東京堂出版
荻野綱男(2007)「コーパスとしての WWW 検索の活用」『月刊言語』第 36 巻第 7 号, 大修館書店, 26-33
小泉保・船城道雄・本田晶治・仁田義雄・塚本秀樹(1989)『日本語基本動詞用法辞典』, 大修館書店

- 城田 俊 (1998) 『日本語形態論』, ひつじ書房
- 杉村 泰 (2007) 「インターネットを利用した日本語の類義分析」『月刊言語』第36巻第7号, 大修館書店, 42-49
- (2008) 「複合動詞「-切る」の意味について」『言語文化研究叢書』7, 名古屋大学大学院国際言語文化研究科, 63-79
- (2011) 「コーパスを利用した複合動詞「-果たす」の意味分析」『言語文化論集』第33巻第1号, 名古屋大学大学院国際言語文化研究科, 61-73
- (2012) 「『新潮文庫の100冊』に見る日本語の「V1-果たす」と「V1-果てる」について」『日本学研究 二零一一年上海外国語大学日本学国際論壇紀念論文集』, 華東理工大学出版社, (印刷中)
- 田忠魁・泉原省二・金相順 (編) (1998) 『日本語類似表現のニュアンスの違いを例証する類義語使い分け辞典』, 研究社
- 松村明・山口明穂・和田利政 (編) (1995) 『旺文社国語辞典』第八版, 旺文社